

サケの稚魚を放流

～元気に帰ってきてね～

3月9日（日）、岩常の岩常橋下流の河川敷でサケの稚魚の放流が行われました。

小田川・荒金川はかつて荒金鉾山から流れ出す水の影響で、魚が住めない川になっていました。この取り組みは、「小田川・荒金川に魚を蘇らせる会」が主催して、毎年、この時期に行っているもので、両川を魚が元気に泳ぐ川にしようとの目的でサケを卵からふ化させて放流する活動を行っています。

昨年の11月には以前放流したサケが産卵に遡上するなど成果があがっています。

当日は地元住民、岩美南小学校の児童など約150人が集まり、7～10cmに育った稚魚を大きく成長して帰ってくるように願いながら、慎重に川へ放流しました。

放流の後は、「岩常夢はうす」で温かいうどんがふるまわれ、川風で冷えた体を温めながらサケの旅立ちを見送りました。

4年後の再会を楽しみに待ちましよう。



「おおいわ音頭」完成

岩美町わがまちづくり交付金事業をうけて2年目の3月、念願の「おおいわ音頭」が完成しました。

①輝け！おおいわ音頭②翔け！おおいわ音頭の異なった曲にカラオケもついています。作詞まちづくり実行委員会 作曲石谷ゆかり先生

歌は大谷の谷口尚美さん 編曲田中プロデューサーによるものです。

CDケースは童画家田中かおる先生が駟馬山峠からみた桜咲く大岩駅、名馬生月に乗った可愛い子ども達など書いてくださり、大変美しいものです。値段は千円。購入希望の方は大岩交流センター（☎72-0096）までお申し込みください。

おおいわ歌のあるまちづくり

実行委員会



平成20年 春の全国交通安全運動

■期間 平成20年4月6日（日）～

4月15日（火）

鳥取県年間スローガン 事故ゼロへ 心をつなごう 手をつなごう

運動の目的

この運動は、新入学（園）や職場の異動など環境が変化することにより、交通事故の発生が予想されることから、県民一人ひとりが交通安全について考え、交通ルールの遵守と交通マナーの向上に取り組むことを通じて、特に子どもや高齢者を交通事故から守り、交通事故防止を図ることを目的とする。

運動の進め方

実施機関・団体や地域・家庭等では、相互に協力しながら、地域や組織の実情に即した実効性のある運動を展開する。実施機関では特に、広報啓発活動を通じてこの運動を県民一人ひとりにまで浸透させ、実践されるよう積極的に推進する。

